

学校給食週間 1月25日

今日の献立

ビーフカレー

牛乳

チーズとナッツの
サラダ



福沢諭吉は1835年に大阪で生まれ、江戸時代の幕末から明治時代にかけて活躍した偉人で、一万円札にも描かれています。

西洋で学んだ文化を積極的に取り入れることにより、閉鎖的だった日本の教育を改革し、洋書の翻訳をして新しい教育の知識を広めたり、慶応義塾大学を創立したり、『学問のすすめ』など多くの本を書きました。

また、人々が暮らしやすくなるよう、新聞で国会開設や憲法制定に向けた提言を行ったり、西洋の銀行の考え方や保険制度を紹介したり、病院の近代化に大きく貢献しました。

福沢諭吉は西洋料理も多く取り入れ、書籍『増訂華英通語』では「Curry」を「コルリ」と通訳し、日本で初めてカレーを紹介しました。



カレーのルーツはインドです。インドの家庭ではいろいろなスパイスを混ぜた『マサラ』でカレーの味付けをします。この『マサラ』がイギリスに渡り、さらに日本にも伝わりました。

福沢諭吉がカレーを紹介すると日本でも急速に広まり、明治時代には洋食屋のメニューになったり、作り方の本が出版されて、庶民の食卓にも登場するようになりました。初めは肉と長ねぎだった日本のカレーも、明治時代の終わりには玉ねぎや人参、じゃがいもが入った現在のカレーとなり、みんなに親しまれるメニューとなりました。